

# 2025-26年度 地区職業奉仕委員会

国際ロータリー 第2570地区 職業奉仕委員会  
2025-26年度 委員長 島田敏郎（富士見RC）

## 職業奉仕について

2025-26年度 職業奉仕委員長 島田 敏郎

職業奉仕とは、職業を通じて他者のためになることをすることです。では他者のためになることをするには何をすべきか。まずはその職業が価値あるものであると認めましょう。そして企業であれば従業員たちが働きやすい環境を整え適正な賃金を支払います、そうすることで、高い倫理観と高潔性を持った人々がその職業に集まります。そういった従業員たちがいる企業は自然と他者、つまり消費者のためになることを追求します。その結果企業が繁栄し、企業も従業員も経営者も、そして消費者も満足を得られ、最終的には社会への貢献となる、これが職業奉仕の目指すところです。

今まで日本のロータリークラブでは、職業奉仕についてロータリーの根幹となる理念として盛んに議論が行われてまいりました。しかし現在、国際ロータリーでは、職業奉仕をロータリーの五大奉仕の第二部門としてあらためて位置付けて考え、実践に重きを置くという風潮が強まっています。**2016年**の規定審議会では、職業奉仕部門の定義が改定され、新たに「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる」という文言が追加されました。

ぜひ、会員の皆様には職業奉仕の理念だけでなくこういった国際ロータリーの考え方をご理解いただき、各クラブにおいて職業奉仕を五大奉仕の第二部門として実践することのできるようご協力をいただければと考えております。